

# 大会の趣旨

我が秋田県は、世界自然遺産白神山地や霊峰烏海山、日本一の水深を誇る田沢湖といった雄大な自然に抱かれ、世界文化遺産の大湯環状列石や伊勢堂岱遺跡、ユネスコ無形文化遺産の西馬音内・毛馬内の盆踊、男鹿のナマハゲなど、世界に誇る歴史と文化が今なお息づく、魅力あふれる地域です。

その一方で、人口減少や少子高齢化が顕在化し、地域社会の持続可能性が大きな課題となっています。本県はこうした変化を早くから経験してきた現状から、地域の担い手の減少や住民の高齢化の進行と向き合いながら、新しい社会の在り方を模索してきました。その過程において、社会教育は「多様な学びを通じた地域共創」を基盤に、人々のつながりを育み、地域の活力を生み出す大きな力として重要な役割を果たしてきたところです。

本大会は、こうした視点を共有しながら、四つのテーマをもとに地域の持続可能性と人々の幸福度を高めるための方策を探るものです。「公民館運動の父」と称される鈴木健次郎<sup>※1</sup>を輩出し、生涯学習の振興に力を注いできた秋田の地において、社会教育と公民館をはじめとする社会教育施設の役割と可能性を、全国・東北の皆様と共に再発見し、未来へとつなげていきたいと考えています。

「汝、何の為に其処に在り也」<sup>※2</sup>  
(なんじ、なんのためにそこにありや)

※1 秋田市土崎出身。文部省社会教育局に勤務し、公民館制度の創出に尽力。

※2 アメリカハーバード大学のジョンソン教授の言葉を引用し、鈴木が秋田高等学校校長時代、当時の生徒に呼びかけた言葉

## 10月22日(木) 全体会日程

| 12:00  | 13:00                       | 13:30            | 14:30       | 16:00            | 16:30                       | 17:00      | 17:30     | 18:30 | 20:30 |
|--------|-----------------------------|------------------|-------------|------------------|-----------------------------|------------|-----------|-------|-------|
| 受<br>付 | 全 体 会                       |                  |             |                  |                             | 東北六<br>県会議 | 情報交<br>換会 |       |       |
|        | ア<br>トラ<br>ク<br>シ<br>ョ<br>ン | 開<br>会<br>行<br>事 | 表<br>彰<br>式 | 記<br>念<br>講<br>演 | 次<br>期<br>開<br>催<br>員<br>挨拶 |            |           |       |       |



全體會司会  
相場 詩織 氏  
(フリーアナウンサー・秋田県出身)

**アトラクション 13:00 ～ 13:30**

なまはげ太鼓「男鹿っ鼓」



なまはげ太鼓「男鹿っ鼓」

**開会行事・表彰 13:30 ～ 14:30**

開会挨拶  
公益社団法人全国公民館連合会表彰  
東北地区公民館連絡協議会功労者表彰  
東北地区社会教育委員連絡協議会表彰  
秋田県公民館連合会表彰  
秋田県社会教育委員連絡協議会表彰

**記念講演 14:30 ～ 16:00**

演題「人生の師から学ぶもの」

読売新聞特別編集委員 橋本五郎氏  
(秋田県三種町出身)

**情報交換会 18:30 ～ 20:30**

会場：ホテルメトロポリタン秋田  
「あきた舞妓」による歓迎アトラクション



あきた舞妓

10月23日(金) 分科会日程 9:00～9:30 受付  
9:30～12:00 分科会

第1～4分科会の共通課題「そこで公民館等の社会教育施設にできることは？」

### 第1分科会 地域・家庭・学校との連携と協働

#### 子どもの未来を拓く地域・家庭・学校のパートナーシップ

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）と地域学校協働活動の一体的推進が、急加速的に進められ、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現が強く求められている。地域・家庭・学校が、どのようにつながり協働の関係性を維持していくべきか、その関係性を作り上げるために必要とされるキーパーソンの役割とは何かについて、事例発表等を通して参加者と共に考える。

コーディネーター：文部科学省総合教育政策局 CSマイスター 高野 睦 氏（由利本荘市立大内中学校教諭）  
事例発表者：宮城県立支援学校女川高等学園 教頭 阿部 朝光 氏  
秋田県仙北市教育委員会 西明寺小学校地域学校協働活動推進員 高橋 新子 氏

### 第2分科会 地域づくり・活性化

#### 豊かな学びが紡ぎ出す地域の活力

少子化・高齢化・過疎化など、地域が抱える課題は山積しており、地域づくりを担う人材の育成も急務となっている。そのような中で、生涯学習・社会教育の力が秘めている「地域を元気にする力」の重要性をいま一度再確認し、その可能性や地域の活力の引き出し方について、事例発表等を通して参加者と共に考える。

コーディネーター：尚絅学院大学教授 松田 道雄 氏  
事例発表者：岩手県紫波町企画総務部地域づくり課情報交流館 紫波町図書館 主任司書 手塚 美希 氏  
山形県山形市立第五小学校 教諭 小林 星太 氏（前山形市教育委員会指導主事・社会教育主事）

### 第3分科会 多様性社会の実現

#### 誰もが幸福感を抱いて生活ができる地域社会の創造

多様な個人が幸せや生きがいを実感しながら生きられるとともに、個人を取り巻く場や地域においても幸福感や豊かさを感じられるような社会を目指すため、様々な教育活動を通じた「ウェルビーイングの向上」が求められている。多様性をどのように認め合い、様々な背景を持つ人々が共生する社会をどう実現していくかについて、事例発表等を通して参加者と共に考える。

コーディネーター：東北学院大学地域総合学部教授 原 義彦 氏  
事例発表者：青森県八戸市総合政策部市民連携推進課 国際交流グループ グループリーダー（副参事） 壬生 智博 氏  
秋田県立比内支援学校 特別支援教育アドバイザー 佐藤 正好 氏（元大館市生涯学習連携協議会コーディネーター）

### 第4分科会 社会教育人材の活用

#### 社会教育主事と社会教育士の連携の在り方

行政における専門的教育職員として「地域全体の学びのオーガナイザー」の役割を果たすべきとされる社会教育主事と、地域活動等において各々の「専門性を様々な場に活かす学びのオーガナイザー」であるとされる社会教育士の連携が模索されている。両者の役割分担と望ましい連携の姿や、今後の社会教育人材の在り方等について、事例発表等を通して参加者と共に考える。

コーディネーター：秋田大学教育文化学部准教授 山口 香苗 氏  
事例発表者：福島県西郷村教育委員会文化スポーツ課中央公民館長 渡邊 康一 氏  
宮城県仙台市教育局 生涯学習部生涯学習課 主査兼社会教育主事 金光寺智士 氏